

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名 社会福祉法人敬寿会	代表者 施設長 山口 まゆみ	法人・事業所の特徴	地域の中で、多機能を拠点とし、利用者一人一人の生活に合わせ個別支援に重点を置いたサービス提供を行っています。利用者の「～したい」の気持ち「笑顔」を引き出し、機能の維持向上に努め自立した生活と生活の質が向上できるよう支援しております。
事業所名 小規模多機能型居宅事業所鈴川敬寿園	管理者 大類 裕二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6人	1人	1人	1人	人	6人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	目標達成するために、事前の打ち合わせを行い、各月に振り分けた計画の中間での進捗の確認とアドバイスを行い、全員が目標に向け意欲的に取り組めるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ユニット会議（月半ば）で目標達成の進捗確認を行い月末までに達成できるようにアドバイスを行い取り組んだ。 報告をもらうことにより意識の差はみられたので、意識の差をなくすようアドバイスしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ全員で取り組んでおり意見を反映している。 職員間で話し合い検討されている。日頃の業務に反映できると感じる。 職員間での差をなくすようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向け中間での確認、個別にアドバイスを行い全員が目標達成を目指す。 ユニット全員で目標を目指す意識を高めるよう取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの飾りつけを行い明るい雰囲気づくりを行う。 利用者間の関係性を配慮し過ごしやすい環境づくりを行う。 ヒヤリハットをもとに事故を防ぐ環境づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに飾り付けを変え楽しく過ごせる雰囲気づくりができた。 飾りと共に季節でのイベントの写真も掲示し季節感を出した。 居室内の危険個所（個別に）の改善、日頃の生活の中でのリスクを話し合いすぐ改善する取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> とても明るく開放的な印象があり、清涼感にあふれている。 季節ごとの飾りつけをして楽しい雰囲気がある。 民生児童委員の研修で見学させて頂き良い経験ができた。 コロナ禍もあり見学できなかつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる雰囲気づくりを継続し、楽しめる雰囲気づくりを行う。 利用者の関係性を考慮し、皆が楽しく、安全に過ごせる環境づくりを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策をしっかり行いながら個別、もしくは少人数で地域で出かけ関わりを持てるように取り組む。 地域に向け施設の取り組みがわかる広報誌の作成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に利用者の意向を確認し、以前から慣れ親しんだ場所への外出を行った。 季節ごとに外出（花見・あじさい・紅葉など）を行った。 敬寿園だよりを作成し、地域の方や家族へ配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は明るく笑顔で対応してくれる。 地域の認知度も高く、○○がお世話になったなどの話も多く聞かれる。 地域の困りごとなどは地域包括センターや鈴川敬寿園に相談し、広報誌等で周知できるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者やご近所の方などに、介護についての困りごと相談など積極的に取り組む。 「介護についてのためになる話」を作成し年2回以上発行する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の「～したい」の実現や日常生活を支える取り組みとして個別支援を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご主人の墓参りや毎年恒例にしていた行事やお参りなど、今までの習慣を継続できるように支援した。しかし全員に対しての対応はできていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴川敬寿園だよりで様々なイベントの実施を行っている事を確認している。 ・運営推進会議の中で地域の代表の意見を吸い上げている。 ・各種イベントを通じ地域住民と事業所間の距離を知事めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策を行いながら、地域の行事に参加するよう取り組む。 ・個別の生活歴を理解し、個別支援に取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で地域の皆様よりの意見を取り入れ、より良い施設になるように取り組む。 ・地域の情報を積極的に伺い地域との関わりを増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議でいただいたご意見はユニット内で共有し、すぐ改善した。 ・地域の情報については情報収集不足で、関わりを増やす取り組みまでは至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た改善点などを参考に取り組んでいると思う。 ・事業所の皆さんのが問題を共有して解決に向け取り組んでいるのがわかる。 ・利用者ご本人から直接を聞いてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議でのご意見を参考により良い施設運営を行う。 ・ユニットの風景などお便りとして発行する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については年2回以上開催し地域の方や消防署にも参加を呼び掛ける。 ・地域との連携が深まるよう、地域の防災訓練にも参加していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は計画通り開催し、消防署の立会い、町内会から4名の参加いただき開催できた。 ・地域の防災訓練への参加はできていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は2つの町内会から4名参加した。 ・きっと地域の要になってくれると思う。 ・運営推進委員も防災訓練に参加させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は定期的に行い、町内会や運営推進委員の方にもお知らせする。 ・地域との連携を深まるよう、地域の防災訓練にも参加していく。